

安城発！大玉・高糖度の梨

「安城梨 甘ひびき」収穫スタート！

【7月下旬に安城市内で収穫風景をご紹介します。】

J Aあいち中央梨生産部会（部会長：中嶋邦道）が栽培する「安城梨 甘ひびき」の出荷が7月下旬にスタートします。「甘ひびき」は、同部会の部会員である安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したもので、大玉で糖度が高いことが最大の特長です。

同部会では今年15.2トンの出荷を予定。当JAのファーマーズマーケットでんまあと刈谷南・安城西部・安城北部、産直センター「道の駅」デンパーク安城の4店舗を中心に8月上旬まで販売します。大玉で糖度が高く、この産地発祥の品種であることから、この地域の人気の贈答品になっています。2017年からは安城市のふるさと納税制度の返礼品になっています。

今年は開花が早く、適度な降雨と日照があったため、大玉で高品質なナシの出荷が予想されます。



生産者により一つ一つ丁寧に
収穫される「甘ひびき」

「甘ひびき」とは

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。出荷は今年で10年目となります。

（「愛甘水」も猪飼さんが育成した梨です）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「幸水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は13度以上と甘味が強い
- ・水分が多く、シャキシャキとした食感



たわわに実る「甘ひびき」

J Aあいち中央梨生産部会

部 会 員：83人（内、甘ひびき栽培農家49人）

栽培面積：約35.6ヘクタール（内、甘ひびきは約2.1ヘクタール）

総出荷量：約150トン（内、甘ひびきは約15.2トン）（2021年度実績）

流 通 先：甘ひびきは主に当JAの でんまあと刈谷南・でんまあと安城西部・

でんまあと安城北部・「道の駅」デンパーク安城で販売します。

甘ひびき以外の梨は中京市場を通じて、愛知県と岐阜県で販売します。

<メディア対応日>

日時：2022年7月下旬 場所：未定

※取材当日は、安城市内の梨（甘ひびき）園で収穫風景を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp